



“芸術・文化の秋”を精喫!



「スポーツの秋」「食欲の秋」などと、秋にも様々な秋がありますが、今年の盛小学校はすっかり「芸術・文化の秋」です。3・4年生は市内音楽発表会に参加しました。そして、9月から11月にかけて、その道のプロである方々が盛小学校に来校し、その道の魅力を存分に披露してくれました。日頃あまり触れることのない『本物』に直接触れることは、子どもたちがもっている感性を刺激し豊かにしてくれると考えます。

■11月10日(木) 3・4年市内音楽発表会 *****

大船渡市民文化会館（リアスホール）を会場に開催された市内小中学校音楽発表会に3・4年生が参加しました。演奏したのは、学習発表会でも披露した合唱「小さな勇気」とポデパ-カッション「勇気100%」です。

自分たちの出番を待つ間、他の小学校の演奏を聴きながらも緊張している様子の子もたちでしたが、いざステージに立つと、きれいに整った歌声の合唱と、1段ランクアップしたポデパ-カッションを発表してくれました。大きな舞台に立っている子どもたちは、

とても輝いていました。

自分たちの発表が終わり、自分の席に戻ってきた子どもたちの表情は、にこやかな笑顔の中に、発表が終わった安心感とやりきった充足感が見えていました。

ほどなくすると、いつもの“ほんの少し元気過ぎる子どもたち”に戻りました。子どもらしい子どもたちです。かわいいですねえ。

盛小学校ホームページ
(ブログ) 携帯サイト



■9月30日(金) “オトワプロジェクト” *****



『オトワプロジェクト』は、ピアノデュオ“レガール”がクラシック音楽を通して、「音楽と人を、そして人と人を、つなげていきたい」という想いから始めた活動だそうです。

今回は、3・4年生を対象に“小さなコンサート”を開いていただきました。子どもたちは目の前での

生演奏に興奮しながらも、素晴らしい連弾や感性豊かなピアノと童話物語の世界に浸っていました。

急遽進んだ企画のお話にも拘わらず、笑顔でご来校いただいたピアノデュオ“レガール”のお二人に感謝しています。

■10月31日(火) “夢先生”いらっしやい *****



盛小学校では、毎年、その道に秀でた方を「夢先生」と呼んでお招きして、その豊かな経験や思いを語っていただく時間を設けています。今回は、ヴァイオリニスト・指揮者の高橋宗芳さんと、ピアニストの桑原裕子さんをお招きいたしました。桑原さんは、リアスオーケストラ代表でもあります。

はじめに、全校でお二人の演奏を聴きました。ホールに響く音色にすっかり魅了されました。その後、5・6年生対象に高橋さんからご講話いただきました。最後には、実際にヴァイオリンに触れさせていただき、子どもたちにとってとても良い経験となりました。

■11月8日(火) 盛小学校訪問ミニコンサート *****



NPO法人「子どもに音楽を」と株式会社豊田自動織機の提供を受けて、1～4年児童を対象に盛小学校訪問ミニコンサートが開かれました。演奏者3名の方々は、周防亮介さん(ヴァイオリン)、横坂源さん(チェロ)、エマニュエル・リモルディさん(ピアノ)と、それぞれその実力が世界的にも認められ、各地で大活躍されている方々です。

演奏した曲の中には、子どもたちが耳にしたことのない曲もありましたが、演奏の素晴らしさやその

音色に魅了されたように、目を輝かせて聞き入っていました。正に『芸術の秋』ですね。

演奏者一行は前日、皆さんご存知の盛町にある『イタリア料理』の料理店で食事をしたそうです。イタリア出身のエマニュエル・リモルディさんが「とても美味しい。絶品です。」と話していたと聞き、まるで我がことのように嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

■11月14日(月) 一人語り “みちのく民話散策” *****



県の事業である文化芸術による子供育成推進事業の一環として、1・2年生を対象に「一人語り“みちのく民話散策”」を開催しました。

アート企画「陽だまり」の高坂さとしさんが紡ぐ語りには驚きと優しさがあふれ、子どもたちはその世界に引き込まれていました。